

校長だより

福津市立福間東中学校
校長 猪股 清貴
平成 28 年 10 月 20 日 No35

教育大学の実習が行われました



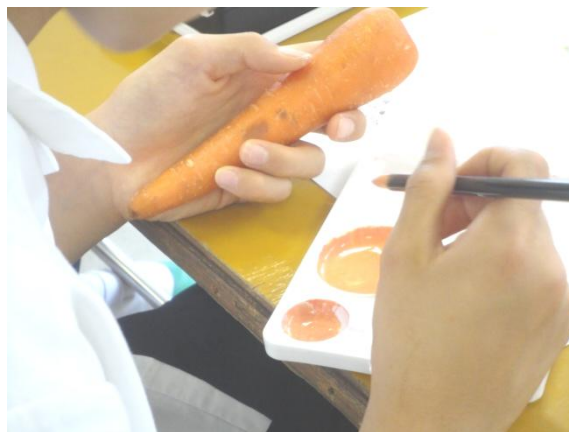
時は実際に自分が制作する作品の色付けをする授業です。本物が持つ色を再現するには、絵具は一色だけでは足りません。いろいろな色を混ぜ合わせて本物に近い色を作り上げなければなりません。どれとどれを混ぜ合わせればよいか、試行錯誤が続きます。色の3原色や12色相関図を既に勉強している2組の生徒たちは、見ている方が驚くような意外な色を混ぜ合わせながら本物に近い色を作り上げていきます。一人ひとりが真剣そのものです。同じ題材でグループが作られていますので、



度を高めたいという探究心が大事なのですね。先生からの「次の時間に、もう少し工夫しようか」という言葉に安心したようになびきました。学生を引率された大学の先生も「学生たちにとって本当にいい勉強ができました」とニコニコしながらおっしゃってくださいました。

左の写真は1年2組の美術の授業風景です。将来美術の教師を目指して勉強している福岡教育大学2年生の学生が実際に中学校の授業を参観して勉強するという実習（大学では「基礎実習」と言うそうです）が本校で実施されました。

題材は「彫塑ちようそをしよう～野菜・果物をつくる～」です。1年生の表現の学習内容の一つに「対象を見つめ感じ取る力や創造力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付けること」が示されています。本



悩んでいると「どうやってその色作ったと?」「もう少し黄色を混ぜたらいいよ」と交流も始まります。梶原先生もグループを回りながら専門家としてのアドバイスをしてくれます。20分もすると一人ひとりのパレットに目的の色が出来上がっています。「よくぞここまで近づけた」と拍手を送りたくなるのですが、生徒はまだまだ不満のようです。実物と見比べながら首をかしげています。

このより完成

